

世界最速

91キロ ギネス更新

チーム篠塚ソーラーカー

宮古島

【宮古島】「タカール・ラリー」(通称バリ・タカ)で日本人初の総合優勝を果たすなど長年、レース活動が続いている篠塚建次郎さん(65)率いるチームが20日、宮古島の下地島港でソーラーカーの世界最速記録に挑み、時速91・3333キロを達成、これまでのギネス認定記録を更新した。22日にギネスの認定員が来島し、申請する。篠塚さんは「ほっとした」と安堵。見学した地元高校生たちに目標へ向かって挑戦することの大切さを説いた。

篠塚さんは、1997年からソーラーカーのレースに「世界一過酷」といわれるバリ・タカで日本人初の総合優勝を成し遂げるなど、ソーラーカーの第一人者として活躍。2008年からソーラーカーのレースにも参戦している。篠塚さんが運転したのは、首屋大学(兵庫県)が製作した全長6.47m、幅1.88m、重量140kgのソーラーカー



ソーラーカーの最高速度の世界記録を達成し、操縦席でスタッフらと喜ぶ篠塚建次郎さん=20日午後、宮古島市・下地島

1.3輪で太陽光で発電、直接モーターを動かす仕組み

第12回ジュニアバレーコン
ランブルで立ち上がった

で安つり!!が

ハ出

み。バッテリーは規定上使用できない。これまでのギネス認定記録はオーストラリアのチームが同国で出した時速88・7388キロだった。この日は太陽高度や雲の流れを見ながら、下地島空港の滑走路や誘導路を何度も往復。照り付ける暑さの中、記録達成後にタイヤが破裂するなど限界への挑戦が続いた。

「風が強くて心配だった」と篠塚さん。「ソーラーカーは究極のエコカーになる可能性がある。実用化は夢のような話だが、少しでも近づけるよう世界にアピールをしたかった」と喜んだ。

第716回
ミニトトB

第716回
ミニトトA

は20日、第
日本スボ
サッカー

広島
全て必